

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

&lt;先週の説教から&gt;

『ミカ ⑩ 最終回 — あなたのような神は

おられない』 武田真治 牧師

ミカ書 7:17-20 ルカ福音書 2:28-32

本日はミカ書の最終回になります。彼は、預言の言葉そのものを終えた後に、自分を受け入れず、拒んだエルサレムの住民に対して「あなたの杖をもって、御自分の民を牧してください」と「執り成しの祈り」をしていることは、とても教えられる行為であり、私たちも学びたい点でしたね！だからこそと言い得るのですが、神様はそのミカの祈りに答えてくださったのでした。それが15節「エジプトの地を出たときのように、彼らに驚くべき業をわたしは示す」です。いつか必ず“驚くべき業＝奇跡”を降して救い出ささうと。その出来事こそ“イエス様の御降誕”ではないでしょうか？

そして今日の18節は「あなたのような神がほかにあろうか」と始まります。この言葉遣いは、実は神様の素晴らしさを感嘆している言葉なのです。つまり祈りの言葉の次に、彼は“神様を讃美する言葉”を語っているのです。この言葉は原文では(ミカ エル ケモカー＝どんな神もあなたに似ているものはいない)で、ミカ自身の名前がここに含まれているという解説者が多いのです。問題は、どの点で主なる神様は他の神々と全く比べものにならない程に素晴らしいと言っているのかという点です。それが「咎を除き、罪を赦される神が。」です。即ち“人間の罪を完全に赦してください”神様は他にはいないと！どうでしょうか？

日本人は特にどんなものでも恐ろしい存在を神として祭り上げ、災いを起こさないように願います。その一方で、神仏とは、拝めば何でも(その人の状態に関係なく)叶えてくれる便利な存在にしています。しかし、本当の神様は“咎は咎として、罪は罪として”ちゃんと示して下さり、その上でその咎や罪を解決して下さる道を与えて下さると。このお方こそ真の神様だと讃美しているのです。

19節では「主は再び我らを憐れみ、すべての罪を海の深みに投げ込まれる」と。「海の深みに投げ込む」とは、あのイ

スラエルの民が、紅海が二つに分かれて海を渡り切った後、続いて来たエジプト軍の上に水が元に戻り、海の深みに飲み込まれていった出来事を思い出させます。これこそまさにイエス様の十字架による“罪の贖い”を指し示している言葉ではないでしょうか！ 私たちの神様が最も素晴らしく、比類のない点は《私たちの罪を赦してください》ことであり、これこそ何よりの“驚くべき業＝奇跡”ということですよ！

そして最後の20節は「どうか、ヤコブにまことを、アブラハムに慈しみを示してください。その昔、我らの父祖にお誓いになったように。」と、最後に祈りをもって『ミカ書』は終わります。これはあたかも“礼拝の祝祷”のようです。まさに、この願い・祈りは(＝今日のシメオンの言葉にあるように)イエス様のご降誕によって実現・成就したのです！

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 1月24日(水) 20:00  
II. 1月25日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答

祈祷主題: 長老会を覚えて

担当者: (水) 飯田 (木) 小杉

祈りに覚える人: 羽倉さん 藤林さん

\*ひつじ雲の会 1月23日(火) 13:30~

## 【教勢報告】

主日礼拝 男24 女60 計84

祈祷会 I. 男6 女4 計10 II. 男1 女9 計10

日曜学校 幼稚科8 小中科8 計16

ハンナの会(1月16日(火)) 男2 女8 計10

## 【次週主日礼拝】 1月28日(日)

聖書: 詩編 39:1~14

ヨハネによる福音書 19:28~30

説教: 「詩編⑨ — ああ、人は皆、空しい」

武田真治 牧師

讃美歌: 226(1)、32、494(1~3)、453(1~3)、433(1~6)、37(1)

## 【次週当番表】

司式: 茨木長老 奏楽: 羽倉 礼拝: 保坂長老

献金: 東 阿部 受付: 金刺 坂田

会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻

西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

## 【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会

礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会

・礼拝/伝道/牧会/社会/伝道 各委員会

2024年 1月 21日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>